

今後の観光客増を見込み道路環境整備を急げ



愛甲 信雄 議員
動画視聴

問 市内の道路環境、特に山間部の道路沿いの敷、路面の凸凹、ひび割れが目立つ。国体、和牛オリンピックの開催や観光地として、おもてなしの側面からも、道路環境整備は急務ではないか。

次対応している。今後も、観光客等の増加が見込まれるので、国道や県道はそれぞれの道路管理者に必要な要望等を行う。市道も、こまめな維持管理を続けていく。

選挙期間中の立て看板「市長は下場から」という市内を分け隔てた考え方に対する危機感

問 合併から12年経つが、市内を上場、下場と分け隔てた考えがある。地域で分け隔てのない市政を求めるがどうか。

答 本市は、各地に資源や産業等ある魅力的なまちである。地域特性や資源を活かし合い、「霧島市はひとつ」という理念のもと、まちづくりを推進したい。

その他の質問
・観光列車「特急はやとの風」の減便、不定期化について

霧島市の課題と対策は



池田 綱雄 議員
動画視聴

問 市長は4年前の選挙戦、その後の4年間、そして今回の選挙戦で、市内を限なく回られたことと思う。本市の現時点での課題を3つ挙げ、それぞれの対策について問う。

答 これまでの国分市議会、霧島市議会及び鹿児島県議会での議員としての経験や、私自身2児の父親として子育てに奮闘する日々の生活を通しての実感、さらに、私の政治姿勢の基本である多くの市民の皆様との対話を通じていただいた貴重なご意見、ご提言などを踏まえ、4つの基本方針と公約6か条を掲げた。

様々な課題や今後の新

霧島リハビリテーションセンターの跡地の活用策は



厚地 覚 議員
動画視聴

問 霧島リハビリテーションセンターは、平成30年3月末に閉鎖されるが、鹿児島大学病院からの譲渡について断念した経緯を示せ。

答 霧島市立医師会医療センターの病床として活用することを検討してきたが、霧島リハビリテーションセンターの場所での診療を行うことが条件となり、土地、建物や医療機器の購入費、その他管理運営費等、本市の病院事業会計に及ぼす影響や医師等のスタッフの確保が困難であると判断したことから、活用しないという結論に至った。霧島リハビリテーションセン

ターの廃院後、どう活用されていくのか、動向を注視していく。

問 跡地を民間の業者が取得すれば、地熱資源の乱開発の恐れがあり、丸尾温泉全体への影響が懸念される。市は取得し温泉を利用した緑地公園化は考えないか。

答 この跡地が、どのような経緯で売却されるのか、動向を注視し必要に応じて、対応していきたい。



霧島リハビリテーションセンター

小野浜地区の渋滞緩和策を図れ



徳田 修和 議員
動画視聴

問 しらさぎ橋からの道路を、単人西インター方面へ延長する計画の検討は進んでいるか。

答 2つの河川やJR日豊本線を越えなくてはならず、地理的な課題が多い。既存の県道につながる市道を活かした道路計画を検討中である。

問 既存の道路は、もともと大型車が頻繁に通る設計ではないと思う。近隣住民も、振動や騒音で悩まされている。抜本的な改良を急ぐべきではないか。

答 今年度中に改良に入り、年次的に整備を進めたい。

西郷どん村の観光資源としての永続的展開への対応策を明確にせよ



久保 史睦 議員
動画視聴

問 「日当山西郷どん村」が一部オープンしたが、本市においての経済効果、および一過性でなく今後の永続性についての検討、対応策をどう考えているか。

答 日本政策投資銀行の試算によると県内を訪れる観光客は、6・24%増加すると予測し、これに伴う経済効果は328億円にのぼると試算される。西郷どんにゆかりのある本市においても、宿泊客等の増加が見込まれ、他業種への波及効果も含め、大きな経済効果が期待できる。現在、駐車場確保の計画も進め、地域

との連携を図り、活性化を進めるまちおこしを検討中である。1月より新たな周遊観光バスの実証運行も始める。

いきいきチケットは利用者の立場で再検討を

問 利用状況が悪いと聞くと、タクシー等への利用や指定ゴミ袋への交換等の対応はとれないか。

答 平成28年度の交付対象者の利用金額及び受領分に対する割合は、温泉バスチケットが64・7%、はりきゅうチケットが27・9%である。利用の目的や範囲については、総合的に検討したい。



その他の質問
・しらさぎ橋の開通に関わる道路状況について

日当山区の活性化意識を高めよ

問 商店街を活性化させるために、「日当山西郷どん村」で、観光客向けのイベントだけではなく、起業家向けのイベントを企画すべきではないか。

答 そのような企画も必要である。既存の補助事業を活用して、空き店舗対策等も努めたい。

問 侏儒どん橋を街歩き企画のルートにしているが、河川敷の雑草や土砂の堆積が著しい。観光のみではなく、地域の災害対策として、早急に対応すべきではないか。

答 県へ、引き続き要望をしていきたい。



侏儒どん橋下の河川状況

鹿児島空港周辺の活性化を！



松元 深 議員
動画視聴

問 鹿児島空港は開港以来45年が経過し、乗降客や貨物取扱量ともに全国上位である。空港を活用したまちづくりを計画し、周辺の整備を推進する考えはないか。

答 空港周辺では、住環境の整備として麓第一区画整理事業を、交通環境の整備として市道論地通り1号線等の改良を実施している。また、西郷公園の誘客促進に向けて、施設の補修整備を進めている。今後も国や県などの関係機関と連携し、空港の活性化や機能強化を図りながら、地域の活性化につながるまちづくりを進めたい。

問 市長は公約で「農業には、日本の基幹産業としての未来があると強く感じ、環境整備、後継者問題、法人経営など抜本的な対策が必要な時」と掲げている。農業振興策はどう考えているか。

答 農業を取り巻く環境は、農業就業人口の減少や高齢化、農地の荒廃など厳しい状況にある。全国的には、独自のアイデアで成果をあげている事例もあり、本市でも、地域の特性を活かし、多くの分野で一定の成果を収めている。今後も担い手の確保、育成対策や農業生産基盤の整備を推進し、農商工の連携や産・学・官の連携等を活用し、農業所得の向上につながる施策に取り組みたい。

その他の質問
・区画整理事業について